

東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団



第81回ティアラこうとう定期演奏会

交響曲
第1番

Symphony No. 1 in F Minor, Op. 10

へ短調 作品10

交響曲
第15番

Symphony No. 15 in A Major, Op. 141

イ長調 作品141

ショスタコーヴィチ没後50年

D. SHOSTAKOVICH

指揮: 高関 健 (常任指揮者)
Ken Takaseki, Principal Conductor

2025

4/12 15:00 開演
(14:15 開場)

■14:40より高関健によるプレトーク

ティアラこうとう (江東公会堂) 大ホール

チケット料金(全席指定・消費税込)

S席 ¥4,500 A席 ¥4,000 B席 ¥3,500

割引チケット

U20(小学生~20歳・座席指定不可) ¥1,000 U30(21歳~30歳・座席指定不可) ¥2,000

江東区民割引(S席~B席) 各¥200割引 ※ハンディキャップ割引もご用意しておりますので、ご希望のお客様はお問い合わせください。

チケットのお申込み

東京シティ・フィル チケットサービス 03-5624-4002(月・水・金11:00~16:00 ※祝日は除く) オンライン予約 <https://www.cityphil.jp/>

主催: 一般社団法人東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

共催: 公益財団法人江東区文化コミュニティ財団 ティアラこうとう

東京シティ・フィルは、1994年から東京シティ・バレエ団と共に東京都江東区と芸術提携を結び、公益財団法人江東区文化コミュニティ財団の協力を得て活動を行っています。

「音楽の輪を広げよう!」。東京シティ・フィルは地域のみなさんと一緒に活動します。



記念年ならではの硬派プログラムで ソヴィエトの巨匠の深奥に触れる

20世紀ソヴィエトを代表する作曲家、ショスタコーヴィチは1906年生まれ、1975年没。没後50年の節目を迎えた2025年の4月、最初と最後の交響曲を並べるといふ、殊に重厚で意義深い演目が、ここで実現する。

最初の第1番は、わずか19歳の年の1925年、ペテルブルク音楽院の卒業用作品で、ロシアのみならず欧州の名指揮者たちがすぐに取り上げるほど大当たり。真の天才の出現を世界に知らしめた出世作だ。古典的な枠は維持しつつ、棘のある旋律線、意表を突く展開、突然の強奏など、彼の作風の特徴が既に現れている。

最後の第15番は1971年、健康不安のあった晩年の境地を示す重

要作。不思議な弱音と透明感に覆われ、数多くの楽曲の引用も謎を呼ぶ。特に「ウィリアム・テル」の度重なる引用は印象的。“あなたはどう感じる?”という問いかけに満ちた音楽にも感じられ、打楽器のリズムが虚空に消えゆくエンディングまで、底知れぬ深みに惹きつけられてしまう。

80回超のティアラこうとう定期の中でも、おそらく最も硬派で辛口なプログラム。それだけに刺激的、思索的で、日常と違う世界が見えてくるはず。ショスタコーヴィチで数々の名演を実現してきた高関健が記念年に贈る、特別で濃密な時間。

林 昌英(音楽ライター)



高関 健 指揮(常任指揮者)

Ken Takaseki, Principal Conductor

1977年カラヤン指揮者コンクールジャパン優勝、ベルリンでヘルベルト・フォン・カラヤンのアシスタントを務め、その後タンゲルウッド音楽祭でもレナード・バーンスタイン、小澤征爾らに指導を受けて、1984年ハンス・スワロフスキー国際指揮者コンクールでも優勝。世界に名だたる名門オーケストラから豊潤な響きを引き出して聴衆や楽員から大絶賛を受けた Санктペテルブルグ・フィル定期演奏会など海外への客演も多く、イツァーク・パールマン、ミッシャ・マイスキー、ギドン・クレーメル、ミハイル・プレトニョフ、ピエール・ブレーズ等の世界的ソリストや作曲家、特にマルタ・アルゲリッチからは3回の共演を通じて絶大な信頼を得る。緻密なスコア分析からスケールの大きな音楽を作り出す名匠。オペラでも新国立劇場やウラジオストクと Санктペテルブルグでの團伊玖磨「夕鶴」、大阪カレヅジオペラでのブリテン「ピーター・グライムズ」をはじめ、2021年には新国立劇場でストラヴィンスキー「夜鳴きうぐいす」とチャイコフスキー「イオランタ」を指揮、作品の魅力を存分に伝えて高い評価を得ている。広島響音楽監督・常任指揮者、新日本フィル正指揮者、大阪センチュリー響常任指揮者、群馬響音楽監督(現・名誉指揮者)、札幌響正指揮者、京都市響常任首席客演指揮者などを歴任し、現在は来る4月に11年目のシーズンを迎える東京シティ・フィル常任指揮者、仙台フィル常任指揮者、富士山静岡交響楽団首席指揮者を務める。第4回渡邊暁雄音楽基金音楽賞、第10回齋藤秀雄メモリアル基金賞、第50回サントリー音楽賞を受賞。NHK等の番組にも定期的に出演するなど、幅広い活躍を続けている。東京藝術大学名誉教授。

X(旧Twitter)@KenTakaseki

© K.Miura

チケットのお申込み

東京シティ・フィル チケットサービス

03-5624-4002

(月・水・金11:00~16:00 ※祝日を除く)

オンライン予約 <https://www.cityphil.jp/>



チケット発売日

会員先行発売 2025年1月27日(月)

一般発売 2025年2月10日(月)

プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/> (Pコード:290-527)
e+(イープラス) <http://eplus.jp/sys/main.jsp>
ティアラこうとうチケットサービス 03-5624-3333

※江東区民割引は東京シティ・フィルとティアラこうとうのみでお取り扱い。
U20、U30は東京シティ・フィルのみでお取り扱い。

会場アクセス

ティアラこうとう(江東公会堂)大ホール

〒135-0002 東京都江東区住吉2丁目28-36 TEL.03-3635-5500

- 地下鉄：都営地下鉄新宿線 東京メトロ半蔵門線「住吉」駅A4出口・・・徒歩4分
- 都営バス：【東22】錦糸町駅～東陽町(東京駅丸の内北口)
「住吉駅前」下車・・・徒歩5分
【錦11】錦糸町駅～築地駅「住吉駅前」下車・・・徒歩5分
【錦28】錦糸町駅～東大島駅「江東公会堂前」下車・・・徒歩1分
- 駐車場：地下駐車場(有料80台収容)



※やむを得ない事情により、出演者、曲目等が変更になる場合がございます。

※一度お求めになられたチケットは公演中止の場合以外、一切キャンセルはできませんので、ご了承ください。なお、チケットの再発行もいたしませんのでご注意ください。

次回の定期演奏会《第82回ティアラこうとう定期演奏会》

2025 **5.10** 日 午後3時開演
ティアラこうとう(江東公会堂)大ホール

【日本・ブラジル友好交流年(日・ブラジル外交関係樹立130周年)】

指揮：ジョゼ・ソアーレス ピアノ：壺阪 健登

ガーシュウィン：ラプソディイン・ブルー/ドヴォルザーク：交響曲第9番 ホ短調 作品95「新世界より」 (ほか)